

熊野町下水道台帳システム移行及び維持管理情報電子化業務評価基準

この基準は、公募型プロポーザル方式により、熊野町下水道台帳システム移行及び維持管理情報電子化業務の受託者を決定するため、参加事業者から提出された技術提案書等の内容を評価し審査するための基準として示すものである。

1. 評価基準

評価点の配分については価格面だけでなく技術面での信頼性や安定性などを考慮し、両面を合わせた総合評価とする。小数点以下の点数は、小数点第2位以下を切捨てとする。

※総合評価点と同点の場合は、一次審査の評価点が高いものを最優秀提案とする。

- ・「技術提案書に基づくプレゼンテーション」評価点 40点
- ・「デモンストレーション」評価点 50点
- ・「構築費用及び年間の運用費用（保守及び更新業務）の合計」評価点 10点

2. 一次審査

表1 企業能力及びシステム機能の評価（合計172点）

審査項目	評価対象物	審査内容	配点
1. 企業の経験 及び能力	【様式3】 業務実績	下水道台帳システムリプレイス等実績に応じて評価する。	36
	【様式4】 会社概要	会社の認証取得状況及び業務遂行に十分な有資格者を保有しているか評価する。	20
2. 予定技術者の 経験及び能力	【様式5】 予定技術者の 経歴及び能力 (管理技術者)	本業務を遂行するための資格及び実績を評価する。	13
	【様式6】 予定技術者の 経歴及び能力 (照査技術者)	本業務を遂行するための資格及び実績を評価する。	13
3. 機能要件の 確認	【様式7】 機能要件確認 書	本システムに求める機能を有しているか評価する。	90

配点100点 評価点/172点×100点=企業能力及びシステム機能の評価による評価点

3. 二次審査

表2 技術提案書に基づくプレゼンテーションの評価（合計260点）

審査項目	評価対象物	審査内容	配点
3. 技術提案書	【様式7】 技術提案書 プレゼンテーション	業務の目的や内容について十分に理解しているか。	260
		業務の遂行に必要な技術者が配置されているか。	
		工程やフローに妥当性があるか。	
		地理情報システム及び維持管理情報システムとして妥当性について評価する。	
		管路情報が容易に確認・更新できる。	
		排水設備の普及状況が容易に確認できる。	
		修繕の更新履歴等の蓄積が容易に確認できる。	
		ストックマネジメント向上に役立つ内容である。	
		苦情・要望履歴が容易に確認できる。	
		施設点検・診断された情報が適切に管理できる内容である。	
		セキュリティ・導入後の運用保守について	
		ランニングコストの縮減について	
		システム構築後の運用について、将来性が見据えたシステムである。	
		仕様書に記載していない内容について独自提案について	
技術提案書・プレゼンテーションについて総合的に評価する。			

配点 40点 評価点 / 260点 × 40点 = 技術提案書に基づくプレゼンテーションによる評価点

表3 デモンストレーションの評価（合計200点）

審査項目	審査内容	配点
デモンストレーション	デモンストレーションの内容・印象	200
	提案するシステムの操作性	
	提案するシステムの機能	
	提案するシステムの操作時のレスポンス	
	提案するシステムの表示画面の見栄え	
	技術者の対応	

配点 50点 評価点/200点×50点=デモンストレーションによる評価点

表4 「構築費用の評価（合計10点）

審査項目	審査内容	配点
価格	最も見積額が低い業者を満点とし、その金額を基準として比率で減点を行う。	10